

— 大樹町宇宙航空課ニュースレター —

Taiki Aerospace News

北海道宇宙サミット2025 開催しました

10月9日・10日の2日間、「北海道宇宙サミット2025」が開催されました。

初日には、北海道の**鈴木知事が挨拶**に立ち、「道としても産学官の関係者と連携し、今回のテーマでもある人材確保を図り、ビジネスの機会を拡大する支援を行っていく」と述べました。

2日目のプログラム「高校生が語る宇宙産業の学びと発見」では、**大樹高校の生徒3名が登壇**し、大樹航空宇宙ボランティアサークルでの活動について発表しました。

また、PRブースには「宇宙なんちゃら こてつくん」のフォトブースが設置され、来場者がこてつくんとの撮影を楽しむ姿も見られました。

2日間を通して行われた宇宙サミットには、現地・オンラインあわせて**約3,950人**が参加し、北海道での宇宙への関心と盛り上がりを感じられるイベントとなりました。

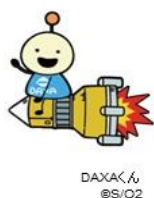
なお、カンファレンスの様子は**アーカイブ配信**でもご覧いただけます。ぜひご視聴ください。



記念撮影の様子（左から、鈴木知事、小田切社長、黒川町長）



高校生トークセッションの様子



宇宙食ってなに？～今日のなんちゃら雑学～

宇宙食には、無重力に対応できるか、長期保存可能か、栄養バランスがとれているかなどが必要とされているんだよ。

そんな宇宙食の中で、認証されている日本の宇宙食は52種類もあるんだって～なんとその中に、十勝川西長いもを使った宇宙食が6つもあるんだよ！



アーカイブはこちら

大樹小学校6年生 HOSPO・ISTを見学

10月15日、大樹小学校の6年生が、**HOSPOとインターステラテクノロジズ社を見学**しました。

初めに、SORAで「大樹町の宇宙のまちづくり」について講義を受け、展示室を見学しました。講義では、大樹町が宇宙のまちづくりに取り組むことになった経緯や、人工衛星が私たちの暮らしにもたらすメリットなどについて学びました。

その後、1300メートルとなった滑走路、LC1を見学。

最後に、IST本社ではロケットエンジンや部品、構造試験棟などを見学し、児童たちは**社員の小林さん**にロケットや人工衛星について質問をして、理解を深めていました。

今回の見学を通して、児童たちは大樹町がどのように宇宙のまちづくりを進めているのかを学び、自分たちの暮らす町について知る貴重な機会となりました。



IST社見学の様子

銀河連邦物産展

9月21日に開催された柏林公園まつりで、「銀河連邦物産展」を実施しました。9月20日から大雨の影響で、会場を急遽生涯学習センターに変更しての開催となりましたが、多くの方にお越しいただき、会場は終始にぎわいました。

普段大樹町では手に入らない、**サガミハラ共和国、ノシロ共和国、サンリクオオフナト共和国、サク共和国、カクダ共和国、ウチノウラキモツキ共和国**の6共和国の特産品を販売し、たくさんの方にお楽しみいただきました。



特産品販売の様子

スペースイラストコンテスト表彰式

9月21日、生涯学習センター（コスモスホール）にて「**2025スペースイラストコンテスト**」の表彰式を行いました。

今回は**156作品**の応募の中から、入選された**10名のうち、9名**が出席され、**日本宇宙少年団大樹分団長 斉藤 雅**氏から、表彰状・副賞・作品写真が贈呈されました。

	氏名	学校名
最優秀賞	平岡 凧翔	大樹小学校
大樹町長賞	池浦 乙葉	大樹中学校
大樹町議会議長賞	川角 芽生	芽室小学校
大樹町教育長賞	斎藤 彩	大樹中学校
十勝毎日新聞社賞	村本 ここの	大樹中学校
銀河連邦タイキ共和国大統領賞	石倉 成	大樹小学校
インターステラテクノロジズ社賞	松井 彩	南町中学校
SPACECOTAN賞	佐藤 晴也	大樹小学校
大樹スペース研究会会長賞	黒田 爽太	若葉小学校
日本宇宙少年団大樹分団長賞	半谷 空	大樹中学校



最優秀賞授与の様子



表彰式出席者による記念撮影の様子